

1. 2014年に策定した現在の戦略は着実な成果をあげつつある。
2. その一方で、2014年の戦略策定以降、国連で採択(2015年)されたSDGsをはじめ、AIやIoTなどの先端技術の台頭、人口減少下での働き方改革の推進など新たな動きが出てきている。
3. こうした新たな動きを踏まえ、2021年度以降のEarth戦略については、現行戦略の取組を継続しつつ、
①持続可能な成長を意識したSDGs ②地域課題の解決に向けた先端技術 ③人材確保や生産性向上を意識した働き方改革
にアフターコロナの視点も加え、更なる九州の競争力強化に繋げていく。

